

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和七年五月度 入賞句一覧

投句数 五百四十七句



特選

大堀 武直 選

眠る子の窓いっぱい春の月

大垣市

岡田 幸子

春の月は空気中の水分が多いためくつきりとは見えない。やや霞んだ月に春の優しさ、柔らかさが感じられる。子の寝顔を見て、どんな夢を見ているのだろうか。健康に育つてほしいなどと思う。窓の外の子を見守ってくれているように。

四世代十三人の花筵

埼玉県川口市

吉永 寿美子

花筵は花見の時の敷物。転じて花見の宴の意もある。この句はどんなメンバーなのかを詠んで、花見の様子は読者の想像にまかせている。親族が集い、宴を楽しくしている。主役は曾孫であろう。爺婆の笑顔も見えてくる。数詞の重ねも効果的だ。

天井に風船あづけ子は眠る

大垣市

吉田 てるみ

この風船はゴム製で、中にヘリウムを入れて空中に浮かすもの。日差しが空に似合うことから春の季語となった。遊び疲れたのであろう子は眠ってしまった。手を離れた風船は天井で止まっている。これを預けると表現し成功した句。

秀逸

花の雨川底にある一夜城

愛知県名古屋

小柳 里佐

喉仏突き出す人や花万葉

岐阜市

伊藤 をさむ

母の手で前髪揃へ入学す

東京都新宿区

花澤 ちいこ

桜蕊降る階段に椅子二つ

大垣市

森田 和子

老眼鏡拭く春愁の息かけて

大垣市

村田 通夫

春雷や藪の羅漢の知らん顔

大垣市

宇佐美 昭子

つばくろや雨の匂ひの風を切り

大垣市

多賀 英華

クレインのくの字に曲がる日永かな

東京都中央区

清水 阿貴子

少年は夢をぼつりと桜道

養老郡養老町

大橋 与志

中天へ田植すること水鏡

大阪府堺市

棕本 望生

入選

春深し岩の奥にも仏様

大垣市

大杉 すみゑ

光風や再就職の作業服

養老郡養老町

田中 紫香

あお向けのゴリラの欠伸日の永し

大垣市

高木 佐知子

花冷えやめざめて白湯を飲む朝

大垣市

後藤 慶子

藤房に忍び寄る風峠茶屋

養老郡養老町

佐藤 咲楽

新緑の木立の影や日々に濃し

大垣市

臼井 秀子

大樺かけ深くして芽吹ききたる

大垣市

北浦 典子

スタンプに香りも押すやぼたん園

大垣市

富田 洋子

曲り道寄り道も好き春の風

揖斐郡大野町

藤田 涼子

ざわめきを片寄せ開く種袋

東京都世田谷区

関戸 信治

少年のゆめふくらんで桜咲く

大垣市

坂 キクエ

弾む声文具選びの入学児

大垣市

米山 春江

どこまでも陽炎と往く路線バス

本巢市

小泉 裕子

形見分けの茶器の重さや昭和の日

岐阜市

伊藤 をさむ

愛車はマーチ昭和歌謡と若葉風

不破郡垂井町

野々部 節子

選者吟

のどけしや初めましてと稚の足

武直

一般の部

